



# おおにしだより

第36号

平成26年 6月13日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

## さとくすなおに 伸びゆくわれら♪ (校歌2番より)

降り続く雨の中で、ひときわ紫陽花が目映えます。紫色があり、白色があり、薄桃色があり、千変万化の様相をみせています。一粒一粒の雨を深く吸い込みながら、花の芯を震わせて変化していくように感じられます。自然の植物がたくましく伸びゆく様は、私たちに希望と勇気を与えてくれます。

さて、平成26年度がスタートしてから二カ月が経過しました。本校の子どもたちもまた、すくすくと成長し続け、個性豊かに様々な活躍をしています。先日の朝会で私は、「いろいろなことに挑戦しよう。」という話をしました。その中で、毎日の勉強だけでなく、陸上や交通安全こども自転車大会の練習、学童野球「大平西ファイターズ」、各種スポーツや音楽、習い事、水泳の練習など、様々な分野で努力を続ける子どもたちの姿を紹介いたしました。「自分の目標に向かって、諦めずに繰り返し挑戦すれば、必ずよい結果に結びつく。」という話を、子どもたちは皆、真剣な表情で聞いてくれました。この素直さこそ、本校の子どもたちの最大の長所であると言えるかもしれません。本当にかわいい子どもたちです。

### 『チームおおにし』が躍動！！

#### 大平地区小学校陸上交歓会で立派な成績をおさめる

6月4日(木)、大平地区小学校陸上交歓会が、大平総合運動公園を会場に開催されました。絶好のコンディションのもと、各小学校の代表選手が力と技を競い合いました。

お陰様で、本校の子どもたちは皆、練習のとき以上に素晴らしい力を発揮し、立派な成績をおさめることができました。上位に入賞できた選手も、入賞できなかった選手も、最後まで本当によくがんばりました。選手たちの直向に取り組む姿は、実に美しいと思いました。観る人たちに大きな感動を与えてくれた選手たちに大きな拍手を送りたいと思います。また、選手の活躍を信じて、最後まで大きな声援を送り続けた応援の子どもたちも皆、西小学校の代表として立派な態度でした。フィールドやトラック、そして、応援席が一体となり、「チームおおにし」の笑顔会場いっぱいに見ることができました。

5月8日から連日の猛練習を行ってきた西小の子どもたち。全員が厳しい練習に耐えながら、自分の目標に向かって全力で取り組むことの大切さを学んでくれたことでしょうか。この経験が、次への大きなステップとなることを期待します。



60mハードル走

なお、この交歓会は、大平地区各小学校の高学年児童の交流の場となっております。競技や応援を通して、自分の学校だけではなく、他の学校の人とも友だちになろうという目的が、十分に達成できたのではないかと感じます。この素晴らしい出会いを大切に、今後も、よきライバルとして、また、「チームおおひら」の一員として、新たな友情を築いていってくださることを願っています。



100m走

### お願いします ～児童の安全確保のために～

- \* 管理棟と教室が遠いため、不審者侵入対策等児童の安全確保には十分な注意を払っています。用事があって学校にいらっしゃったときは、職員室に一声かけてから教室や保健室にお入りください。また、職員玄関のところに来校者用の記録簿がありますので、必要事項をご記入ください。なお、来校者用の名札の着用にもご協力ください。
- \* 栃木市内の大部分の小学校は、スクールバス利用以外は、「徒歩による集団登下校」を行っています。本校でも、育成会との連携のもと、登校班や下校班を編成して、安全確保に努めています。しかし、地域の方から「お天気の時でも車に乗せてしまうため、集団登下校ができなくなってしまう」というご指摘もあります。車に乗って登校した児童に理由を聞くと、「朝寝坊してしまい、登校班で歩いて来られなかった」と言う子がいました。「早寝・早起き・朝ごはん」は家庭教育の基本です。よい習慣が身に付くように、よろしく願います。体調不良など、やむを得ない理由のため、車で送迎しなければならない場合は、事前に担任までお申し出ください。なお、雷雨や豪雨、竜巻などの急な天候異変の時は、車によるお迎えをお願いすることがあります。その際は、学校からメール配信をさせていただきますのでご協力ください。

## 「行ってらっしゃい」ということ

「行ってらっしゃい」は、「行っていらっしゃい」が縮まったものです。この場合の「いらっしゃい」は「来る」の尊敬語。つまり、「行って来い」をていねいにいっているわけですね。

出かける人が「行って来ます」、見送る人は「行ってらっしゃい」……。きっと、日本のあちらこちらで、このやりとりが繰り返されていることでしょう。

それにしてもこのやりとり、どちらも、行くだけでなく、戻ってくるのが前提になっています。出ていけれど、またここへ帰ってくるということを、お互いに確認し合っているかのようです。

帰る場所がある、待っている人がいる……。そんな安心感があるから、元気に前だけを見て行けるのかもしれません。

「行ってらっしゃい」の言葉は、「お帰りなさい」と同じく、誰かに言ってもらわなければ聞くことができない言葉です。きっと、こんなさりげない言葉の中から、私たちは大きな力をもらっているのでしょう。  
(「日本人の心を伝える思いやりの日本語」 山下景子著：青春出版社より)

いかがでしょうか。毎朝、玄関を出るときに、お家の方から「行ってらっしゃい」と声を掛けてもらえるお子さんは、「今日も一日がんばるぞ」という意欲がわいてきます。また、「家族は自分のことを大切にしてくれている」「いつも、やさしく見守ってくれている」という安心感があるからこそ、毎朝、がんばって登校できるわけです。明朝も笑顔で、「行ってらっしゃい」のことばかけを、よろしく願いいたします。

## 「とち介」も田植え作業を応援！！

### 地域の皆様との絆を深め、幸せいっぱいの子

6月9日(月)、5年生の「米作り」では、野原耕作様をはじめ富田第七環境保全会の皆様に、「田植え」の作業をご指導いただきました。

当日は、栃木市マスコットキャラクター『とち介』も、応援にかけつけてくれました。愛嬌たっぷりの姿をはじめて見た5年生は皆大喜び。

水田に入った5年生は、等間隔に目印の付いたロープに沿って、苗を5・6本に小分けして植えていきました。田んぼに足を取られながらも、丁寧に真っ直ぐ植えるように、真剣な表情で作業に熱中していました。およそ1時間30分の体験でしたが、作業を終えた後は、達成感を味わうことができた一人一人の爽やかな笑顔が大変印象的でした。

秋には、おいしいお米の収穫作業が待っています。今後は、稲の生長をじっくりと観察すると共に、お世話をしてくださる方々への感謝の気持ちを新たに育んでいきます。どんな実りとなるのか、今から楽しみです。なお『とち介』も、稲刈り作業の応援にかけつけてくれることとです。

また、4年生の総合的な学習の時間では、富田第七環境保全会と西山田自然環境保全会の皆様に、「水路及び田んぼの生き物調査」でご指導をいただきます。この活動は、環境問題をテーマに、ここ数年間実施している学習ですが、昨年度は、地域と学校が一体となった活動が高く評価され、栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会から、審査員特別賞を受賞いたしました。

今年は、6月25日(雨天の場合は27日)に、生き物調査を行う予定です。本校の子どもたちが様々な人々と出会い、触れ合い、学び合えるということは、実に素晴らしいことです。

地域の皆様の温かいご指導に心より感謝いたします。



### 見事な集聚力

大平地区からは、本校が代表となって大会に出場し、他地区代表校と技を競い合いました。その結果、学科テスト・実技テストともに素晴らしい成績をおさめ、団体の部で見事第3位に輝きました。代表として、日々、熱心に取り組んだ努力が報われました。おめでとうございます。

### 【お知らせ】

☆「大平地域女性の会(西地区)」(代表：柳田和子様)の皆様から、心のこもった手縫い雑巾を60枚もいただきました。清掃活動で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



### きれいに植えました

苗を5・6本に小分けして植えていきました。田んぼに足を取られながらも、丁寧に真っ直ぐ植えるように、真剣な表情で作業に熱中していました。およそ1時間30分の体験でしたが、作業を終えた後は、達成感を味わうことができた一人一人の爽やかな笑顔が大変印象的でした。

秋には、おいしいお米の収穫作業が待っています。今後は、稲の生長をじっくりと観察すると共に、お世話をしてくださる方々への感謝の気持ちを新たに育んでいきます。どんな実りとなるのか、今から楽しみです。なお『とち介』も、稲刈り作業の応援にかけつけてくれることとです。